

(様式)

小中一貫授業改善プラン 重点観点及び重点指導事項一覧 (大森第六中学校区)

令和5年度

国語科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情について、描写を基に捉えることができるように系統性のある指導を充実させる。 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりできるように、複数の叙述を結び付けながら読めるようにする。 		

社会科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取った事実の因果関係や特徴、大まかな傾向や変化など資料活用能力の向上を図る。 複数の資料を比較する、関係付ける、総合的に判断するといった社会科の問題解決型の学習の過程を通した指導を充実させる。 		

算数・数学科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容とその後の発展を見通しながら、系統性を重視した指導を充実させる。 見通しをもち、筋道を立てて考える力を高めるために、検討場面の学び合いを重視する。 		

理科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 理科の問題解決の学習過程を確実に定着させるために、対話の活動を充実させる。 自分の考えを明確にできるようにするために、効果的な実験や観察方法を考えられるようにする。 		

音楽科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞や旋律からイメージをふくらませ、それに合う表現を工夫して演奏できるように指導を充実させる。 曲想と音楽の関わりについて理解できるようにするために、様々な曲や楽器に触れる機会を多く持たせる。 		

図画工作・美術科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見つけて表現することができるようにする。 道具の特徴を知り、安全に扱うことができるようにする。 		

保健体育科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性に合わせた動き方を知り、技能を身に付ける。 		

技術・家庭科

		観点別	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点	◎		
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 日常よく使用される食品を用いた調理に関する基礎的・基本的な技能を身に付ける。 布を用いた生活に役立つものの製作に関する基礎的・基本的な技能を身に付ける。 		

外国語科 (英語)

		観点別 (指導要録に記載されているもの)	
小学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点			◎
中学校	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
重点観点			◎
重点指導事項	<ul style="list-style-type: none"> 誰とでもコミュニケーションを図ろうとする。 英語を活用しなくなる場面を設定し、会話の機会を増やし、基本的な表現に慣れ親しむ。 		